

環境福祉部会

【視察期間】令和1年8月6日-8日

01 富山県白山市「共生のまちづくりについて」

視察概要

・共生のまち白山プランの概要
・白山市共生のまちづくり条例の経緯と取組状況
・合理的配慮への市民理解の今後の課題や展開 等

参考と なった点

合理的配慮を軸に置いた白山市共生のまちづくり条例を中心に、誰もが住みよいまちづくりを推進している。医療、教育、警察、地域、障がい、介護、行政等の各種機関をはじめ、住宅や建設など民間企業も含め140機関が参画する協議会を持ち、様々な課題が上がる度に、各部会に分かれて都度検討、実践していく組織を持っている。

02 東京都町田市「ごみ減量について」

視察概要

・町田市一般廃棄物資源化計画基本法の概要
・「リユース」「食品ロス」の取組状況
・段ボールコンポストの今後の課題や展開 等

参考と なった点

他の行政で見られる一般廃棄物処理法ではなく、資源化基本法を掲げて、ゴミは資源であるという観点から各施策が考えられている。家庭ごみの「水切り」による水分カットや段ボールコンポストなど具体的な取組やすい家庭での行動啓発や、10戸単位で設置できる大型生ごみ処理機の普及拡大などに努めている。

03 東京都足立区「健康寿命延伸について」

視察概要

・あだちベジタライフの概要
・あだちベジタライフの経緯と取組状況
・あだちベジタライフの今後の課題や展開 等

参考と なった点

住んでいれば自然と健康になれるまちを目指し、区民に多い糖尿病対策に重点を置いて「あだちベジタライフ〜そうだ、野菜を食べよう〜」を旗印にした野菜に関する取組。徹底したデータ解析と「野菜を先に、多めに」摂るだけという、分かりやすい啓発により、身近な健康への意識変化が様々な行動変化に良い影響を与えることが出来る。



環境福祉部会員



あだちベジタライフ(足立区)

産業建設部会

【視察期間】令和1年8月6日-8日

01 北海道千歳市「グリーン・ツーリズムについて」

視察概要

・グリーン・ツーリズムの概要
・グリーン・ツーリズム連絡協議会の概要
・取組の経緯・背景・特色
・成果と今後の課題

参考と なった点

近年、旅行者のニーズがその土地ならではの体験や地域の人々とのふれあいを楽しむ旅に変化している。農地地区の整備計画から具体化し連絡協議会を組織されている千歳市のグリーン・ツーリズムは地域の持つ豊かな自然や四季の移ろいなどの観光資源を十分に生かして取組まれている。

02 北海道士別市「自動車等試験研究を通じたまちづくりについて」

視察概要

・テストコース建設計画等の背景、概要
・テストコース建設による観光・経済効果とその評価
・テストコース建設がインフラ整備等施策に及ぼした影響
・今後の展望と課題

参考と なった点

トヨタ自動車株のテストコースである士別試験場の従業員が180名程度であるものの、そのうち一定数の従業員の定住は進んでおり、また冬季を中心に道外からの出張者が多くいることから飲食・宿泊施設等への経済効果が見られるなどの高い効果がみられた。

03 北海道岩見沢市「ICTを活用した農業(スマート農業)について」

視察概要

・スマート農業取組の経緯と背景 及び概要
・スマート農業取組事例
・成果と今後の課題 及び展望

参考と なった点

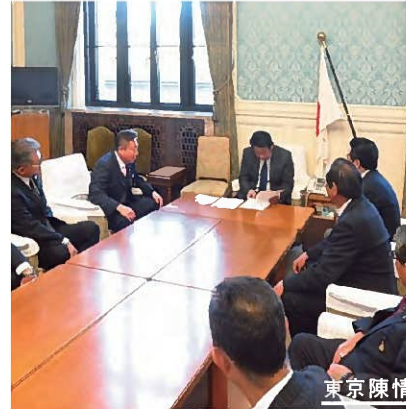
行政面積のうち42%が農地でありながら、農業就業人口は減少、また高齢化しているなか、先進的な取組を進めるにあたり法規制などの難しい障害をクリアするため行政が積極的に関与し農との連携を密にして整備を行っている。また整備したITC環境を農業だけでなく「市民の生活の質の向上」「定住促進」へと活用する取組が行われておりその効果は高い。



産業建設部会員



士別試験場(士別市)



東京陳情



合同研修



街頭活動



管内研修



海外視察

豊田市議会自民クラブ議員団
広報委員会
発行日 2020年1月1日
www.toyota-jimin.jp



住む人が主役の
政治を目指して…

豊田市議会

自民クラブだより

理念

私たち豊田市議会自民クラブ議員団は、住む人が主役の政治を推進する政策集団として、地域の歴史と伝統を大切にしながら、全ての社会行動の原点である家族が幸せに暮らしている潤いと安らぎのある豊かな豊田市を創ることに邁進する。

政策大綱

- 1 地域住民の目線に立ったまちづくり
- 2 安全・安心のまちづくり
- 3 次世代の確かな育成
- 4 都市部と農山村地域の共生
- 5 快適居住のまちづくり
- 6 活力ある産業都市
- 7 自立できる自治体の確立

四役会

- 会長 鈴木章 すずき あきら [5期]
幹事長 板垣清志 いたがき きよし [3期]
総務会長 木本文也 きもと ふみや [3期]
政務調査会長 羽根田利明 はねだ としあき [3期]

- 杉浦弘高 すぎうら ひろたか [5期]
三井弘海 みえ ひろみ [5期]
山田主成 やまだ しゅせい [3期]
杉本寛文 すぎもと ひろふみ [2期]
水野博史 みずの ひろふみ [2期]
奥村峰生 おくむら みねお [1期]
寺田康生 たらた やすお [1期]
杉浦健史 すぎうら たけし [1期]

自民クラブ議員団では、5つの部会にわかれ、先進地の取組を調査・研究し、豊田市政に反映しています。

企画総務部会

[視察期間] 令和1年8月6日-8日

01 新潟県上越市「公共施設等総合管理計画について」

視察概要 ・公共施設等総合管理計画の概要と個別施設計画について
・総合管理計画の成果と課題 ・今後の方向性 ・計画推進に向けた取組

参考となった点 地域施設の廃止・撤去については、総論賛成ではあるものの各論反対の立場であり、担当地域の施設はなくてはならないのが本音である。そこで上越市は施設カテゴリーによる重複を遂行するために地域の代表者としてしっかり膝を交えた交渉や理解活動が欠かせないと考え、丁寧に粘り強く行って成果を上げている点など参考になった。

02 東京都大田区「スマートワークについて」

視察概要 ・大田区スマートワーク宣言までの経緯・背景 ・成果と職員の意識変化
・スマートワークの概要と具体的な取組 ・今後の課題

参考となった点 スマートワーク宣言の具体的な取組として、求職者に対する説明人員やお出迎え人数を減らしたり、各課1改善という呼び掛けで取組んだり、庶務事務等のOA化、自動化を推進したパソコン決済などがある。また職員へのモチベーションをあげるために、周知用のポスター掲示、スマートワーク通信、研修として管理職講習会やマネジメント研修等は参考になった。

03 茨城県つくば市「SDGs未来都市の取組について」

視察概要 ・SDGs未来都市の取組概要 ・SDGs目標の選定
・SDGs達成に向けた取組方針 ・成果と今後の課題

参考となった点 都心・海外とのアクセスもしやすい自然環境も豊かな地域である。研究学園都市としての資源を生かした特徴的な未来都市を創るという計画である。市長40代、副市長20代という若さで新たな視点でのまちづくりを進めている。社会・経済・環境の3側面から5つの柱建てをしてCIVIC事業として取組んでいる。特につくばSDGsパートナーズ(多種多様な人材で研修を受けた人)が地域の課題に取組むきっかけづくりを行っているのは興味深い。



企画総務部会員



CIVIC事業(つくば市)

地域生活部会

[視察期間] 令和1年7月30日-8月1日

01 大阪府高槻市「特別救急隊(救急ステーション)について」

視察概要 ・「特別救急隊」(救急ステーション)の設置に至る経緯
・事業運用面の目的と定義

参考となった点 平成12年度の国の施策が示されたなかで、先進地の制度を参考に、救急ワークステーション方式によるドクターカー制度について、平成13年から検討に入り、平成14年4月には特別救急隊検討部会を設置し、検討・協議、10月からは試行運用、平成18年10月から本格運用となった。国の施策が示されてすぐに対応がなされており、現在は、24時間365日対応できる体制が整っている。

02 兵庫県尼崎市「自転車盗難防止策『Alar-mmy.(アラ-ミー)』について」

視察概要 ・事業実施に至る経緯 ・事業概要(イニシャルコスト、ランニングコスト 含む)
・事業効果と課題

参考となった点 地形的に高低差が10mしかなく、市内に鉄道駅が13駅あることから、自転車の利用が多いまちである。それゆえに自転車の盗難も年々増え続けており、歯止めをかけるために、若手職員のアイデアを採用して事業展開がなされた。事業にかかった費用は少ないが、効果もあがっていることは大きな成果である。

03 熊本県熊本市「貯水機能付給水管について」

視察概要 ・貯水機能付給水管の設置に至る経緯 ・事業効果と課題
・事業概要(イニシャルコスト、ランニングコスト、運用方法 含む)

参考となった点 貯水機能付給水管は平時は通常の給水管だが、災害時断水が生じた場合、タンク容量分の水道水を確保でき、非常用の飲料水を提供できる機能を持っているため、整備が進められている。将来的に市内全小中学校に整備予定とのことで、大きな災害が発生し、断水が起きた時には効果のある設備である。また、災害時には地域住民が操作できる体制にもなっている。



地域生活部会員



災害用給水タンク(熊本市)

教育社会部会

[視察期間] 令和1年8月6日-8日

01 山口県宇部市「宇部多世代共働交流まちづくり(宇部CCRC)について」

視察概要 ・事業実施に至る経緯 ・事業の概要
・事業効果と課題

参考となった点 国の生涯活躍のまち構想を戦略的に活用し、移住を促進するアクティブシニアのみならず、医療福祉の従事者など将来の担い手を確保する観点で多世代を対象とした「多世代が共働交流する生涯活躍のまちづくり」の実現を目指している。モデル地域として2つの拠点地域を指定し、居住機能を中心に雇用や子育てなど様々な機能を整備し、生涯活躍のまちづくりモデル地区の構築に取組むほか、定住促進、移住促進を含め、多種多様な事業を展開している。



教育社会部会員

02 福岡県大野城町「大野城心のふるさと館について」

視察概要 ・事業の概要 ・にぎわいと魅力ある施設の維持に向けた取組
・今後の課題

参考となった点 「歴史・子ども・にぎわい」をキーワードに、市民交流、情報発信、にぎわい創出の拠点施設とした市民ミュージアムである。フロアごとにコンセプトが設定され、まちとのつながりを意識した展示を楽しむことができる。限りのある敷地において、屋内を広く見せる工夫がされていたり、市民交流の場として、活動、展示、イベントが滞りなく、館全体に賑わいがある、一体感、わくわく感を生み出す空間構成となっている。



心のふるさと館(大野城市)

03 広島県福山町「福山ネウボラについて」

視察概要 ・事業の概要 ・事業開始後の効果及び実績 ・現状の課題や今後の方向性

参考となった点 福山未来づくりビジョンを掲げ、5つの挑戦のなかでも重点として取組んでいるのが、希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの創出であり、その具体的な政策が、福山ネウボラである。妊娠・出産・子育てに関し、切れ目のない支援を行うために、医療・保健・福祉等の相談体制を再構築し、子育てに関する不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備を行っている。